

[株主のみなさまへ]

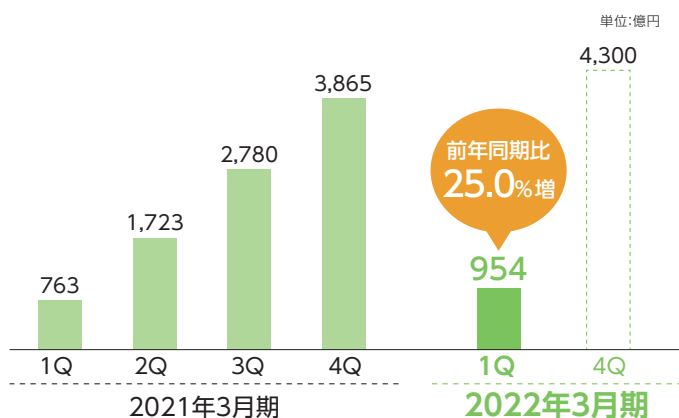
第18期 第1四半期 決算のご報告

2021年4月1日から6月30日まで

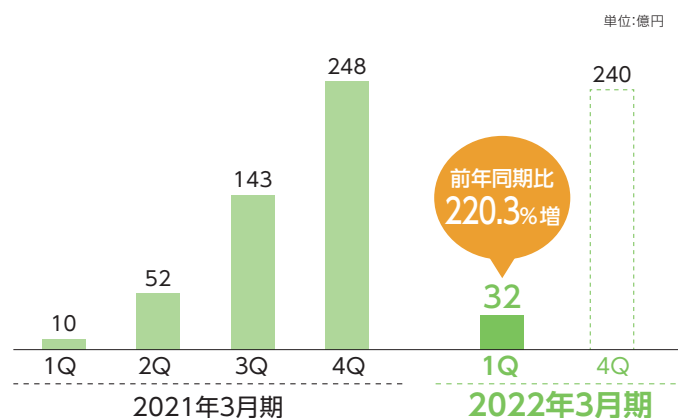
証券コード:6674

連結業績ハイライト

売上高 **954**億円



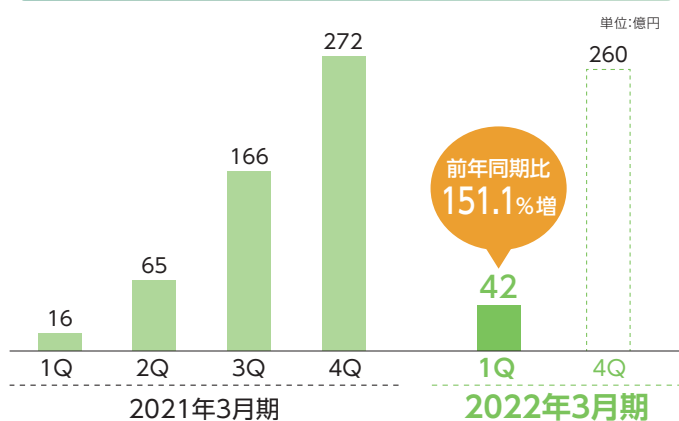
営業利益 **32**億円



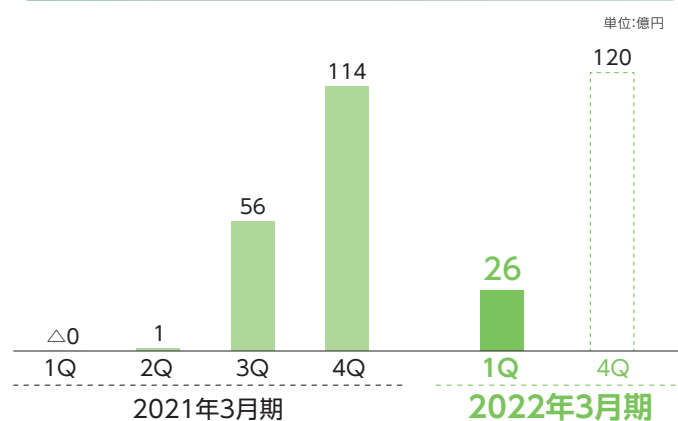
のれん等償却前営業利益
(2022年3月期1Q)

37億円(前年同期比140.9%増)

経常利益 **42**億円



親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 **26**億円



のれん等償却前親会社株主に帰属する
四半期純利益(2022年3月期1Q)

31億円

TOP MESSAGE

国内外の自動車電池の販売増加などにより、 営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は 過去最高となりました。

平素より格別のご高配、ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに第18期(2021年4月1日から2021年6月30日まで)の業績や取り組みについて、ご報告申し上げます。

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、各国の経済対策や新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことにより回復の兆しが見られましたが、国内における緊急事態宣言の再発令やアジア地域の一部の国ではロックダウン等の措置がとられております。感染症拡大の懸念に加え、原材料価格上昇、部材不足やコンテナ不足によるサプライチェーンの混乱など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてプラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売が回復したことや、国内外の自動車電池事業における鉛電池の販売が増加したことなどにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、954億58百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて190億82百万円増加(25.0%)しました。これに伴い、営業利益は32億10百万円(のれん等償却前営業利益は37億75百万円)と前第1四半期連結累計期間に比べて22億8百万円増加(220.3%)、また、経常利益も42億68百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて25億68百万円増加(151.1%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益で負ののれん発生益を計上したこともあり、26億81百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて27億8百万円増加しました。

代表取締役
取締役社長 村尾 修



特集

Special Issue

GSユアサの宇宙用リチウムイオン電池が JAXA『宇宙航空分野における 安全・ミッション保証功労賞』を受賞

当社グループの株式会社 ジーエス・ユアサ テクノロジー(以下、GYT)は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(以下、JAXA) 殿より『宇宙航空分野における安全・ミッション保証功労賞』を受賞しました。

この賞は、JAXAのさまざまなミッションの遂行にあたり、安全の確保やミッション保証業務において顕著な功績や貢献があった組織や個人に授与される賞で、このたびの受賞は、人工衛星や国際宇宙ステーション補給機「こうのとり(HTV)」に搭載されるGYT製の宇宙用リチウムイオン電池が、宇宙機の機能・性能向上やミッション成功に貢献したことを評価されたものです。

GYTは、宇宙向けの厳格な品質基準を満足するさまざまな宇宙用途の電池^{*}を1970年代より製造しており、人工衛星、国際宇宙ステーションなどの国内外の宇宙機や国内のロケットに採用されてきました。宇宙用リチウムイオン電池においては、令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰の「科学技術賞」を受賞するなど、これまでにもその実績を高く評価いただいています。

GYTはこれからも、高性能・高品質・高信頼性の電池を開発・製造販売することで、宇宙航空分野の開発と安全性に貢献してまいります。

^{*}宇宙用リチウムイオン電池、熱電池、酸化銀電池、ニカド電池



受賞記念盾

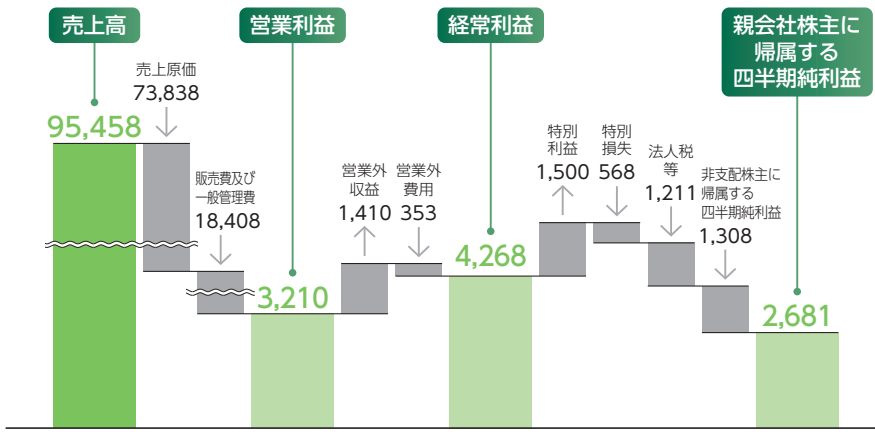


宇宙用リチウムイオン電池(セル)

連結損益計算書

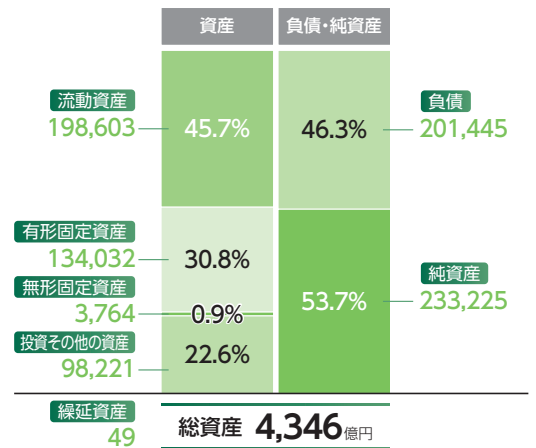
[当第1四半期(累計)] (2021年4月1日~6月30日)

(百万円)



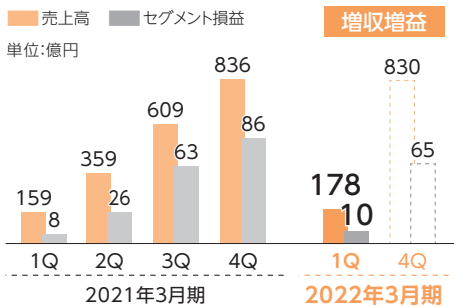
連結貸借対照表

[当第1四半期末] (2021年6月30日) (百万円)



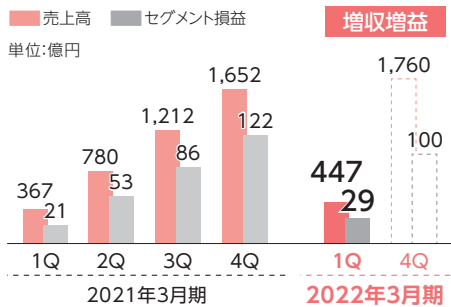
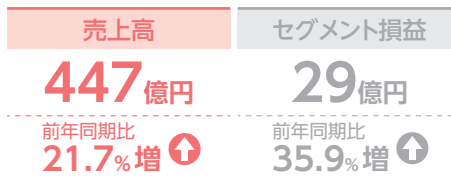
セグメント別連結業績

自動車電池事業(国内)



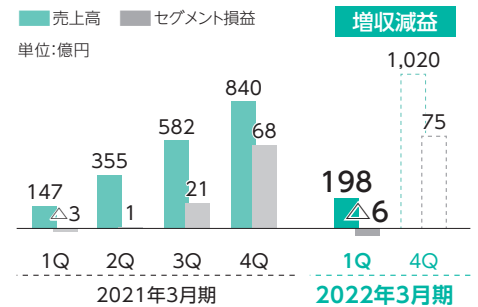
- 新車向け販売数量は、半導体不足の影響があったものの、新型コロナ禍による影響からは回復
- 補修向け販売数量は昨年度から引き続き堅調に推移

自動車電池事業(海外)



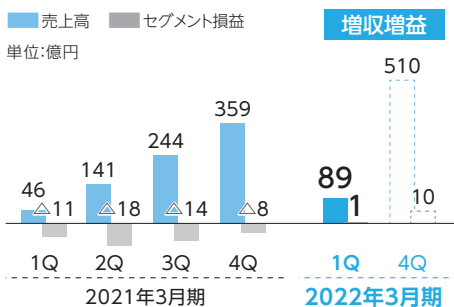
- アセアンで自動車・オートバイ用の販売数量が増加
- 欧州で自動車用補修向け販売数量が増加
- 鉛価格上昇に伴い販売価格が上昇
- 円安による為替換算により売上高が増加

産業電池電源事業



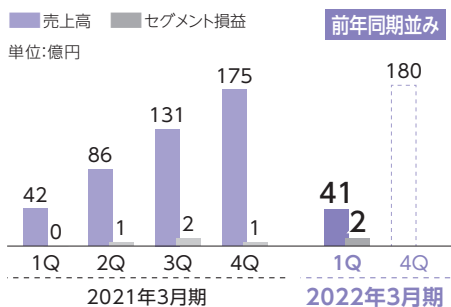
- 大型風力発電用リチウムイオン電池の販売数量が増加
- サンケン電気株式会社の社会システム事業が5月から連結対象に加わったため売上高が増加

車載用リチウムイオン電池事業



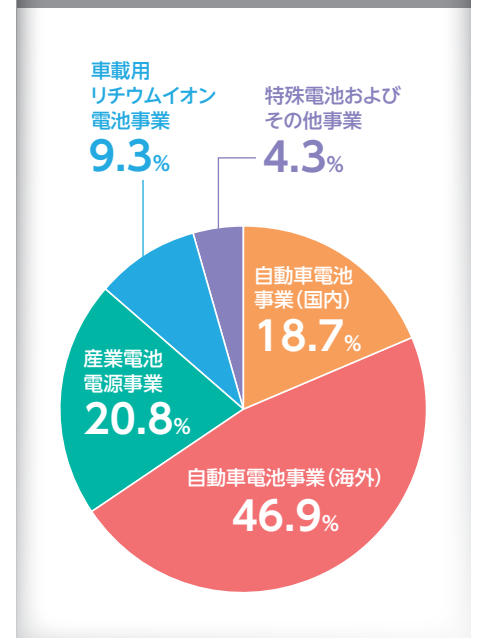
- [リチウムエナジー・ジャパン (LEJ)] プラグインハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売は半導体不足による影響を受けたものの、新型コロナ禍による影響からは回復
- [ブルーエナジー (BEC)] 半導体不足の影響は受けたものの、搭載車種の販売は好調に推移

特殊電池およびその他事業



- 潜水艦用リチウムイオン電池の生産は順調に推移
- 航空機用リチウムイオン電池の販売は新型コロナ禍による影響からは回復

売上高構成比



(注) セグメント損益はのれん等償却前営業利益です。

Topics 1

インドネシアに産業用蓄電池販売会社を設立

当社は2021年4月、インドネシア共和国にGS Yuasa Siam Industry Ltd.(タイ)およびPT. Santi Yoga社との合併で、産業用蓄電池等の販売とメンテナンスを行うPT. YUASA INDUSTRIAL BATTERY INDONESIAを設立しました。インドネシア国内を中心に鉛蓄電池の販売事業を展開するPT. Santi Yoga社より同社の産業電池事業を譲り受け、2021年7月から事業を開始します。

アセアン最大規模の経済を有し、インフラビジネスのさらなる発展が期待されるインドネシアで、当社のグローバルな産業電池事業の基盤と、PT. Santi Yoga社が培ってきたインドネシア国内の盤石な販売基盤を融合させることで、2025年に販売金額20億円を目指します。

●PT. YUASA INDUSTRIAL BATTERY INDONESIAの概要

社名	PT. YUASA INDUSTRIAL BATTERY INDONESIA	
所在地	インドネシア共和国 ジャカルタ首都特別州 ジャカルタ	
設立年月日	2021年4月1日	
出資金	36,430,000,000 インドネシア ルピア(約255百万円)	
出資者	株式会社 GSユアサ	20%
	GS Yuasa Siam Industry Ltd. (本社:タイ バンコク)	20%
	PT. Santi Yoga (本社:インドネシア ジャカルタ)	60%
事業内容	○産業用蓄電池および電源装置の販売とメンテナンスサービス ○バッテリー式フォークリフト用蓄電池の販売とメンテナンスサービス	

Topics 2

GSユアサ京都事業所にV2Xシステムを導入

世界的な脱炭素化の流れを受け、再生可能エネルギー活用、蓄電システム導入、自動車の電動化などの取り組みが加速しています。また近年、大規模自然災害も増加し、公共施設の防災機能強化や、民間施設のBCP強化が課題となっています。

このような状況を踏まえ、当社は2021年5月、京都事業所に2021年12月発売予定のV2Xシステムを導入しました。V2Xシステムとは、電気自動車(EV)、太陽電池、蓄電システム、EV用充放電器で構成され、EVと建物や電力系統間で電力を融通する自家消費型エネルギーシステムです。平常時は再生可能エネルギーの自家消費、EVへの充電、EV充電時に生じるピークデマンドの削減など、エネルギーの有効活用が可能で、CO₂削減にも貢献します。また、電灯負荷や、空調などの動力負荷にも電力供給

を行うことが可能で、防災機能強化やBCP強化に貢献します。

市場投入に先駆けて実証実験を行い、今後の製品、サービス開発に活用することで、お客様のニーズに応えてまいります。



●会社概要 (2021年6月30日現在)

商号 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
(GS Yuasa Corporation)

事業目的 電池を中心とした事業を営む傘下のグループ企業の経営戦略を策定、統括し、グループの企業価値の最大化を図る。

設立 2004年4月1日

資本金 33,021百万円

本社所在地 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
電話(075)312-1211

ホームページ <https://www.gs-yuasa.com/jp>

上場金融商品 東京証券取引所 市場第一部

ホームページのご案内

より詳しい情報は、
当社IRサイトをご覧ください。

<https://www.gs-yuasa.com/jp/ir/>

こちらから
アクセス
できます。

